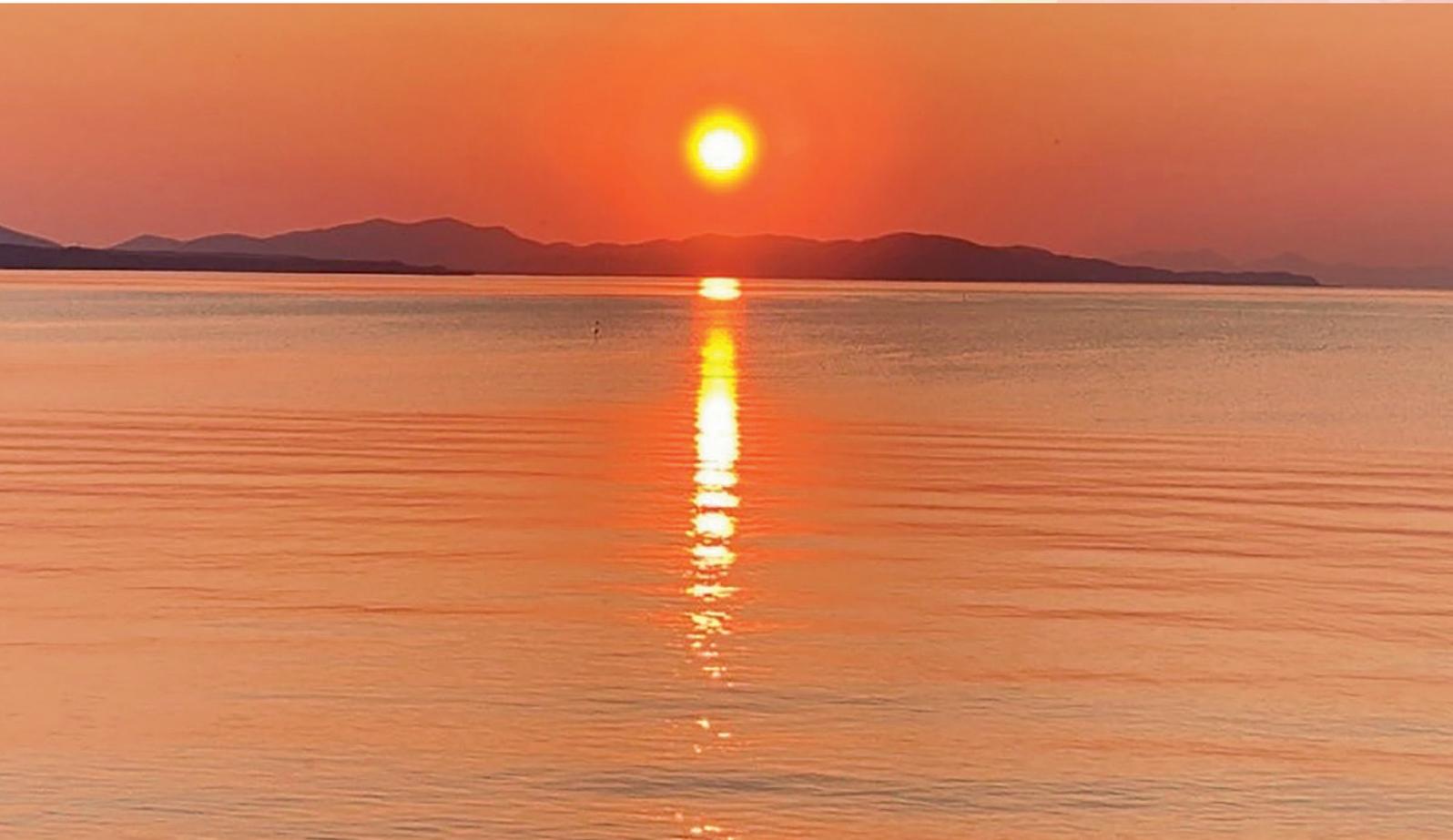


のへじ

議会だより



《木明地区 紅焔から差し込む闇夜を切り開く道（町民の方からの提供）》

町の魅力いっぱいの写真（jpgデータ）をお待ちしています。
メール gikai@town.noheji.lg.jp



野辺地町
ホームページ
（野辺地町議会）

PART
1

町民とともに力強く歩むまちづくり
物価高騰に挑戦する推しの前口上 2

PART
2

町民の声を背に
一般質問という名の政策提案 4～7

PART
3

あなたの発する声が町を動かす
町民と議員の井戸端会議～想い響かせて～ 8

町民とともに力強く歩むまちづくり



物価高騰に挑戦する推しの前口上

子ども1人当たり
3万円の応援金

2580万円

県事業の子ども・子育て世帯
応援金は、18歳未満
の子ども1人当たり
3万円を給付するも
のです。

7万円を低所得
世帯に給付

1億7500万円

低所得世帯に
1世帯当たり7
万円を給付するも
のです。
物価高騰対応重点
支援地方創生臨時交
付金の低所得世帯支
援枠分になります。

プレミアム
商品券の発行

4821万円

プレミアム商
品券発行事業と
して、町商工会へ補
助金を交付するもの
です。

賛否両論

反対

赤垣義憲議員
商品券として配布す
べき

全町民に行き届く
施策ではない。

賛成

大湊敏行議員
経済活性化へ
事業の一つとして、
ふさわしい。

令和6年1月
から6月までの
水道基本料金を減免
します。
県物価高騰緊急対
策市町村交付金を一
部充当するものです。

4800万円



地域振興に寄与

- ・コミュニティ防災セ
ンター条例の廃止
- ・財産の処分

民間事業者から「コ
ミュニティ防災セン
ター及び敷地（旧木明
小学校）を買い取って
原子力関連施設工事に
従事者などのために宿
泊施設を整備し、県内
圏域の地域振興に寄与
したい。」との申し入
れがあったことから、
同施設の建物と敷地を
売却するものです。

議論応酬

赤垣義憲議員

同施設を売却する判
断に至った理由は、

答 県と連携して、遊
休財産を企業誘致など
に有効活用するため。

議論白熱 賛否明解

- ・財産の取得「新庁舎
執務備品等」「応接
備品等」「レジスタ
ー及び自動釣銭機等」

令和6年8月頃、新
庁舎が一部供用開始さ
れることから、必要と
なる備品をそろえるも
のです。

議論応酬

中谷謙一議員

これらの契約が同額
程度になるように積算
しなかったのは。

答 新庁舎完成時期に
一気に納入し据え付け
るなど、種類等で分け
た結果、契約に差が出
た。

野坂充議員

費用を抑えるよう要
望していたが。

答 不足分を新品で補
う考え方である。

審議議案と賛否 [令和5年第8回12月定例会]

令和5年度補正予算

一般会計（第5号） 1億3300万円増 予算総額91億7100万円 水道基本料金減免（6か月）のため特別会計に繰り出し、県子ども・子育て世帯応援金事業費を追加。	全員賛成可決
一般会計（第6号） 2億3600万円増 予算総額94億700万円 低所得世帯に1世帯当たり7万円支給、プレミアム商品券発行事業補助金を追加。 （賛成）横浜議員、高沢議員、木戸議員、村中議員、五十嵐議員、戸澤議員、大湊議員 （反対）古林議員、中谷議員、野坂議員、赤垣議員	賛成多数可決
国民健康保険事業特別会計（第3号） 550万円余り減 予算総額16億8886万円余り 実績に基づく調整によるもの。	全員賛成可決
介護保険事業特別会計（第3号） 1615万円余り増 予算総額18億8168万円余り 介護サービス及び介護予防サービス等に係る保険給付費に追加。	全員賛成可決
水道事業特別会計（第2号） 資本的支出 521万円余り増 予定額総額 2億363万円余り 馬門野辺地線道路改良工事に伴う排水管布設替工事請負費の変更分を追加。	全員賛成可決

条例改正・廃止

町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 町議会議員の期末手当の支給割合を改めるもの。	全員賛成可決
特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正 町長等の期末手当の支給割合を改めるもの。	全員賛成可決
職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を改めるもの。	全員賛成可決
会計年度任用職員の給与及び費用弁償等に関する条例、職員の育児休業等に関する条例の一部改正 会計年度任用職員の期末手当及び勤勉手当の支給について、所要の改正を行うもの。	全員賛成可決
国民健康保険税条例の一部改正 法改正に伴い、所要の改正を行うもの。	全員賛成可決
介護保険条例の一部改正 新型コロナウイルスの影響により減収が見込まれる被保険者に係る減免措置の基準を変更するもの。	全員賛成可決
コミュニティ防災センター条例の廃止 財産処分を行うもの。	全員賛成可決

財産・その他

財産の処分（コミュニティ防災センター） 処分価格 1708万5600円 相手方 株式会社サイズリゾート開発 コミュニティ防災センター（旧木明小学校）の土地・建物を売却するもの。	全員賛成可決
財産の取得（新庁舎執務備品等） 取得価格 7183万円 相手方 株式会社うさぎや （賛成）横浜議員、高沢議員、村中議員、五十嵐議員、戸澤議員、大湊議員 （反対）木戸議員、古林議員、中谷議員、野坂議員、赤垣議員	賛成多数可決
財産の取得（新庁舎応接備品等） 取得価格 572万円 相手方 有限会社いさみや	全員賛成可決
財産の取得（新庁舎レジスター及び自動釣銭機等） 取得価格 950万4千円 相手方 株式会社うさぎや	全員賛成可決
土地開発公社の解散 公共用地等の先行取得の必要性がなくなったため解散するもの。	全員賛成可決

人事

教育委員会委員の任命 委員の杉山道彦氏の任期が12月19日で満了となるため、再任するもの。	同意
--	----

議員・委員会提案

「未来につなげる幸せのまち」実現へ更なる充実を求める決議 社会の変容を見据え、更なる町政の充実を求めるもの。	全員賛成可決
議会改革検討特別委員会の委員の定数を変更する決議 委員の定数を6人から7人に。新たに五十嵐勝弘議員を委員に選任。	全員賛成可決



町の業務において、町民の個人情報や保存したUSBメモリーを紛失したことに伴い、その管理監督責任として町長及び副町長に支給する給料の月額を減額する条例案が提出されました。

町長は2か月分、副町長は1か月分をそれぞれ10分の1減額するもので、全会一致で可決しました。



聴く！ 見る！ 考える！ つなげる！ ぎかい “町民” の声をひろいあげます！

一般質問で政策提案

町民の声を背に

CHECK

町のさまざまな課題等について、町に方針等を聞くのが「一般質問」。12月定例会では、7名の議員が登壇し、町政への質問や提言を行いました。ここでは、ダイジェスト版でお知らせしています。詳細は会議録をご覧ください。（3月上旬調製完了予定）



支え合い切れ目のない保健福祉		活用して保全する環境	
高齢者の補聴器購入費用の助成	村 中	風力発電	木 戸
工夫と連携の地域産業		メリハリのある行財政	
まかど温泉スキー場の復旧	五十嵐	国策のトリガー条項とインボイス制度	赤 垣
猛暑による一次産業への影響と支援	赤 垣	町長車の燃料費と運転業務	赤 垣
猛暑による農家、漁業者支援	木 戸	決算審査意見書と財政見通し	赤 垣
誰もが学べる教育		USBメモリーのセキュリティ管理	高 沢
国民スポーツ大会を契機とした健康づくり	高 沢	町長選に掲げた公約	中 谷
住み続けたい生活環境		行財政運営と財務状況	大 湊
新交通システム導入の検討	五十嵐	不祥事に対する信頼回復への取組	大 湊
バス路線維持対策	赤 垣	結婚新生活支援事業	村 中
通院、買い物利用のバス運行	高 沢		
除排雪計画	大 湊		

※議員名（網かけ）の項目は記事を掲載しています。



スキー場復旧への調査は

報告を受け関係機関と調整中（町長）

デマンド型交通は、多くの自治体で導入が進んでおり、当町でも将来を見据えた検討が必要です。



いがらし かつひろ 議員
五十嵐 勝弘

問 地質調査費として、事業者へ補助金1010万円を予算計上したが、まかど温泉スキー場復旧に向けた調査の進捗と今後の進め方は。

町長 補助金は地質調査、復旧工事の施工方法、概算経費の試算などの調査費を補助するもので、事業者からの報告を基に、内容や施工期間などに関係機関と調整している。

問 地方鉄道や路線バスの存続が困難となっている中、生活基盤である公共交通について、新たにデマンド型交通の導入

町長 を検討しては。デマンド型交通は、乗合であることから事前予約をする必要があり、運行時間や発着地などを決められるが、定められた時間、路線の運行ではないため、定時バス路線に代わるものとは言えない。デマンド型交通の実施については、車両維持費、運転手等人件費で年間数千円の経費が必要であるほか、委託が想定される交通事業者からの運転手の確保が難しく、解決すべき課題が多い。

11 住み続けられるまちづくりを



地方の声を国に

国会の議論を注視する（町長）

ここに取り上げられなかった財政見通しなどの質問も重要課題です。ぜひ、議事録をお読みください。

問 「トリガー条項の凍結解除」と「インボイス制度の見直し」について、地方の声として国に届けたい。

町長 「トリガー条項」については、現在、国会でさまざまな議論が盛んに展開されており、その推移を注視していきたい。

「インボイス制度」については、全国町村会が昨年11月に関係省庁に対して、制度導入に当たり、免税事業者が不利益を被らないよう、適切な措置を講じることなどを要望している。



あかがき よしのり
赤垣 義憲 議員

問 町長車が公務先でアイドリング状態で待機しているが。

町長 移動先で運転手の控室などがあれば望ましいが、実際は皆無である。運転手には、公務終了が不確定なことなどに備え、いつでも出発できるための対応である。

運転手の健康を守る観点から、車内の冷暖房を使用させざるを得ず、アイドリング状態しておく必要がある。

11 住み続けられるまちづくりを



USBメモリーの管理を厳重に

情報保護と管理の重要性を啓発（町長）

一連の事件・事故に対する原因究明と、今後の対策をしっかりと行ってほしいとの思いで質問しました。

問 USBメモリーを紛失したが、再びこの事態を起こさないよう対策は。

町長 このたびの紛失事案を受け、「勤務時間以外は必ず保管場所を施錠する。」「所属内に管理者及び副管理者を置く。」「管理は管理者が行う。」「使用簿で管理。使用及び返却時は必ず管理者の確認を得る。」「一時的な記憶媒体として使用し、必ず保存データを消去する。」「指定した業務外に使用しない。」「USBメモリーの暗号化の実施。」を徹底している。



たかさわ ようこ
高沢 陽子 議員

る。また、個人情報保護に関する職員研修を定期的に行い、情報保護と安全管理の重要性を啓発していきたい。こうした取組を徹底しながら再発防止に努める。

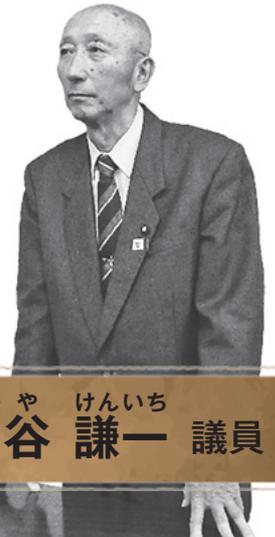
問 町民の通院、買い物物のバス運行計画は。

町長 検討すべき事項が多く、現時点では、事業者へのバス補助金とお出かけタクシー助成事業を実施している。

町長選での公約はどう実現

多くの施策展開と堅実な財政運営を（町長）

町長の公約は実現可能か、その裏付け、確証があるか町民の方々に知っていただきたく質問しました。



なかや けんいち
中谷 謙一 議員

問 これからの4年間、どのように公約を実現するのか。公約に掲げた堅実な財政運営と効率的な行政運営とは。

これらの重要施策を重点的に検討・実施し、多くの施策を展開する中でも、堅実な財政運営を行っていく。

町長 喫緊の課題

である少子化対策について、小学校、中学校の入学祝い金制度を創設し、進学の際の保護者負担軽減の一助となるとともに、子育て世帯から選ばれ、住み続けたいもらえる町にしたい。雇用の確保と経済活性化については、企業誘致の推進、事業者の事業の拡大及び継承を支援していく。



除排雪に新たな施策を

現在は考えていない（町長）

道路情報を共有する「まちレポあおもり」の事例を紹介し、導入を提案しました。（詳しくは会議録で）



おおみなと としゆき
大湊 敏行 議員

問 冬期間の道路交通を確保するために、新たな施策が必要では。

町長 当町ではシステム等の導入は考えていない。

町社会福祉協議会への委託、自治会の補助事業を実施しているが、作業員の確保が困難となっており。



問 財務状況の積極的な公表を。

町長 財政状況資料集を毎年度ホームページで公表しているほか、財政状況をより明確にする観点から地方公会計制度に基づき、統一的な基準に基づく財務書類として、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を作成し、毎年度ホームページで公表している。

町社会福祉協議会への委託、自治会の補助事業を実施しているが、作業員の確保が困難となっており。



小型風力発電施設への懸念

法令等の遵守を求める（町長）

高温障害で被害を受けたこかぶ農家、ホタテ漁業者及び加工業者へ、町独自の支援をお願いしたい想いで質問しました。

問 木明・有戸地区の小型風力発電施設が、道路に近く、重大な事故につながる懸念されるが、事業者への指導ができないか。

町長 小型風力発電は、環境アセスメントを行う制度がないため、建設状況把握し、意見を述べることができない。把握できた事業者に対し、関係法令やガイドラインの遵守を求めるとともに、国や県へ実情を伝える。

問 高温障害で被害を受けたこかぶ農家、ホタテ漁業者に対して支援を。

町長 農協では、現在、こかぶ等の被害状況を取りまとめられていると伺っており、結果を確認した上で農協と連携した対策を講じていく。県では、陸奥湾養殖ホタテの被害状況を踏まえ、業界団体と連携を図り、支援策等を打ち出していることから、町漁協と協議し、その活用の後押しをしていきたい。



きど ただかつ
木戸 忠勝 議員



補聴器購入費用の助成を

総合的に検討する（町長）

高齢者の生活が充実するためにも補聴器は必要です。結婚新生活支援事業は移住定住促進につながります。

問 加齢性難聴は、認知症や孤立化のリスクがあるが、補聴器購入費用の助成を検討しては。

町長 当町の補聴器購入に対する補助は、身体障がい者手帳を所持する聴覚障がい者に対して助成している。今後、国や県、ほかの自治体の動向を注視し、総合的に検討したい。

問 野辺地町でも結婚新生活支援事業について取り組むべきでは。

町長 夫婦ともに39歳以下、世帯所得が500万円未満の世帯が対象であり、令和6年度からの実施を検討している。経済支援のみならず、出会いの場の提供など各種支援を推進していきたい。



むらなか あきこ
村中 玲子 議員

あなたの発する **声** が 町を **動** かす **想** い **響** かせて

10/20 町民と議員の井戸端会議 を開催しました

町民と議員の少人数のグループに分かれ、井戸端会議のようにリラックスした雰囲気懇談しました。

今回は、3つのテーマについて懇談しました。

「野辺地町がなくしてはいけないもの」

「野辺地町の課題」

「野辺地町の将来像」

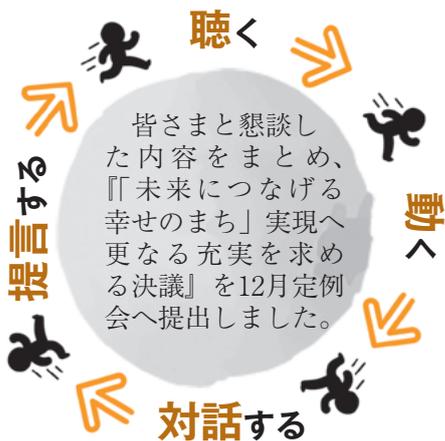
中でも、「野辺地町の将来像」については、グループ発表を行い参加者で共有しました。こちらを紹介します。

参加者 10名

参加者の声

- ・多くの議員と意見交換できて良かった。
- ・祭りなど、具体的なテーマで懇談したい。

- たくさんの仕事があり、人を呼び込む政策が多く、魅力（住みやすさ）を発信することで、町で暮らす人々が幸福感を得られる。
- 食のブランド化を進めて、安定した自給率を確保。コンパクトシティによって、中心部に住民を集め、山林等の自然を残しながら、レジャー等で活用して移住定住につながる住みやすい町に。
- 人と人がふれあい、コミュニティを大切にする町。
- 町の良い所を見つけ合って、町外の方に自信をもって話せることで移住が増える。
- 生活しやすく、働く場所があり、子育てしやすく、外から人が集まる町にできれば、規模を小さくしないでも住みやすい町に。



議会には住民福祉の向上、実質的成果を出すことが求められ、執行機関の監視、評価だけではなく、町民の皆さまのご意見を基に政策立案、提言することが重要です。



町民と議員で井戸端会議（不慣れで申し訳ありませんでした）



初めての取組なので、実は練習してました。



総務常任委員会

委員長 大湊 敏行

児童・生徒を取り巻く現状を調査

9/27

今後の調査重点項目を協議。「ふるさと納税寄附額増」と「教育に着目した子育て支援」について、調査を進めていくことになりました。

11/7

町内小中学校の現状を把握するため、「児童・生徒を取り巻く現状」について聞き取りしました。
学校で最も時間を費やすのが授業なので、知的に楽しい授業づくりに力を入れ、教育環境を整備し、安心して学校生活を送れる魅力ある学校づくりを応援したいとのことです。

建設産業保健衛生常任委員会

委員長 高沢 陽子

誘致企業を視察

11/8

誘致企業である「株式会社永木精機」の野辺地サービスセンターを視察しました。同企業は、大阪ものづくり優良企業賞を受賞し、市場で高い評価を得ています。

野辺地サービスセンターでの運営方針や業務内容を聞き取りしました。来春、地元からも雇用を確保することです。



check



全員協議会



10月5日

- ・USBメモリーの紛失報告

10月12日

- ・町民と議員の井戸端会議に係る事前協議

11月10日

- ・町民と議員の井戸端会議に係る事後協議
- ・新庁舎議場の運営

12月21日

- ・まかど温泉スキー場復旧に関する状況報告
- ・財政見直し

議会改革検討特別委員会

委員長 赤垣 義憲

タブレット端末導入及び議会中継を検討

10/17

議会改革として取り組む課題は、「議会の政策立案機能の強化」「議会審議の活性化」「議会活動の透明性の確保」であり、これらの取組によって、町民全体の福祉の向上につなげることを目的としています。

議会活動をより充実させるためタブレット端末の導入を検討するとともに、町民と連携した議会を目指すため、議会中継についても今後検討していくことになりました。

視察を受け入れました

10/11 埼玉県久喜市議会（久喜みらいの会）

健康増進センターで実施される「こそだてステーションふわふわ」の視察などを行った後、議会ICT化について意見交換しました。

当町と「埼玉県久喜市」は友好都市です。



議員は何してる？

議員の活動

action



10月		11月		12月	
4日	広報委員会	2日	郡議長会定例会	6日	定例会（提案理由、委員会報告）
5日	全員協議会	7日	総務常任委員会	7日	定例会（一般質問）
11日	埼玉県久喜市議会（久喜みらいの会）行政視察	8日	建設産業保健衛生常任委員会	8日	定例会（議案等審議）
12日	全員協議会	10日	全員協議会	21日	全員協議会
17日	議会運営委員会	15日	知事を囲む行政懇談会		
18日	臨時会	28日	県選出国会議員との懇談会		
19日	広報委員会	29日	議長全国大会		
20日	町民と議員の井戸端会議	30日	議会運営委員会		
26日	県議長会正副議長・各種常任委員長・事務局長研修会				
30日	議会運営委員会				

議会傍聴者からの声

令和5年9月及び12月定例会において、傍聴者の皆さまにアンケートのご協力をいただきました。貴重なご意見等、誠にありがとうございました。こちらは、抜粋して掲載しております。

● 回答数	男性	女性	未回答	● 年代別	● 議会に期待すること	行政の監視	政策提案	町民との対話
26人	12人	2人	2人	20代 1人	引き続き、ご協力お願いします。	15	27	13

議論の活発化
議員の資質向上
議会だよりの充実
情報発信
●ご意見等
・ 答弁をはっきりと
・ 答弁は傍聴者にも分かりやすく
・ このアンケートを全町民に
・ 議会報告会の開催

会議録の公開

定例会・臨時会の会議録を町ホームページで公開しております。会議録は調製が完了次第（閉会后3か月程度）随時更新します。議会事務局でも閲覧できます。



3月定例会の予定

- 2月28日（水） 提案理由、委員会報告
- 3月11日（月） 一般質問
- 3月13日（水） 予算議案審議
- 3月14日（木） 予算議案審議
- 3月15日（金） 議案等審議

いずれも9時30分開会予定です。日程は変更になる場合があります。

編集後記

新年早々、石川県などを直撃した能登半島地震は、「甚大な被害」をもたらしました。

今後起こりうる地震に対する備えのため、地域をよく知る方々の自主防災組織「自分たちの地域は自分たちで守る。」という自覚、連帯感をもって取り組まなければならぬと思います。これからも、広報委員会は町民の皆さまの声を正確に伝えるということを意識しながら、できる限り多くの方に手に取っていただければ、工夫していきたいと思っております。ご意見やご要望をお待ちしております。

（木戸）

広報委員会

委員長 大湊 敏行
副委員長 赤垣 義憲
委員 横浜 睦成
木戸 忠勝
村中 玲子
五十嵐勝弘